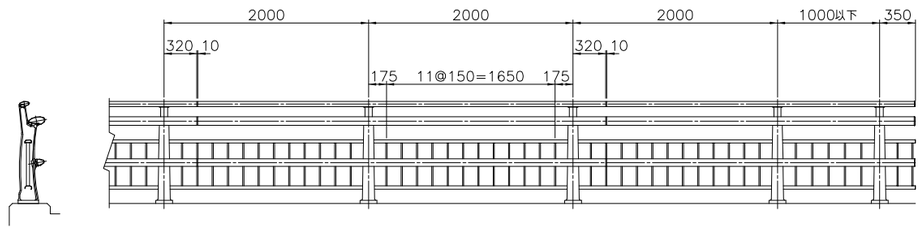
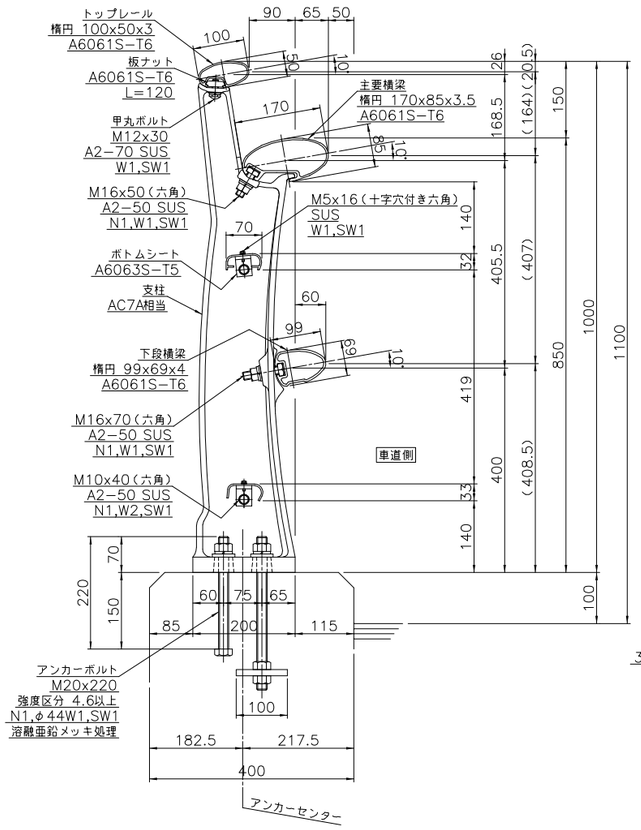
姿　図　S=1/30

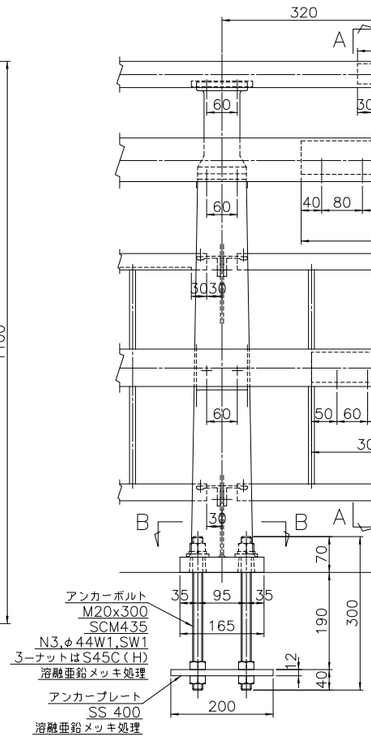


高欄兼用
車両防護柵取付詳細図　S=1/6

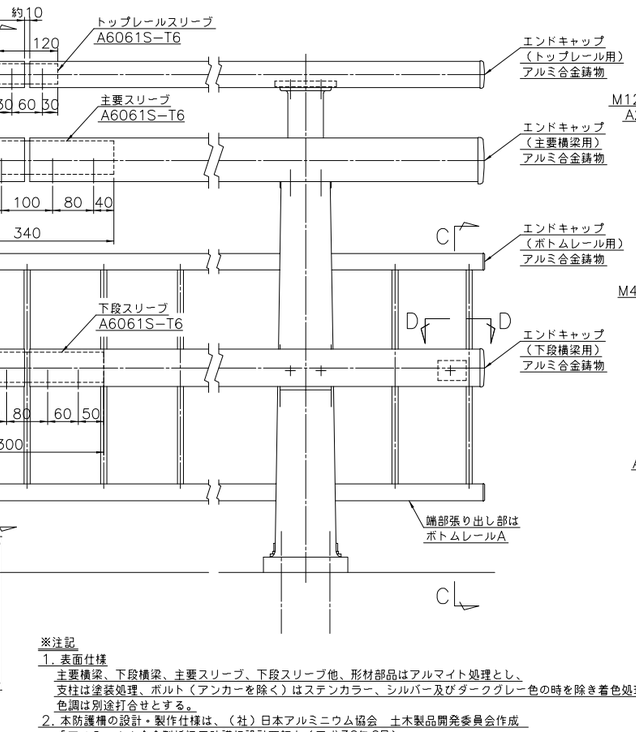
種別　C種



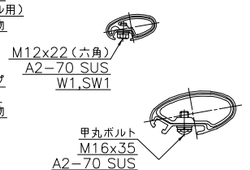
継手部



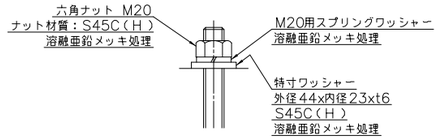
端　部



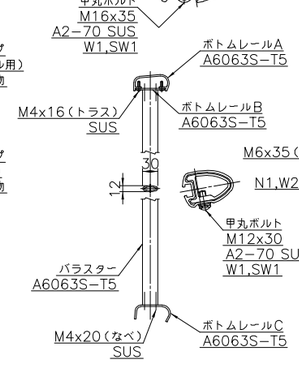
断面A−A



アンカーナット締め付け部　S=1/3

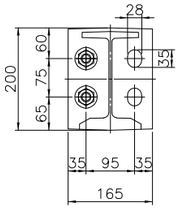


断面C−C



断面D−D

断面B−B



※注記
1. 表面仕様
　主要横梁、下段横梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、
　支柱は塗装処理、ボルト（アンカーを除く）はステンカラー、シルバー及びダークグレー色の時を除き着色処理とし、
　色調は別途打合せとする。
2. 本防護柵の設計・製作仕様は、（社）日本アルミニウム協会　土木製品開発委員会作成
　「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」（平成30年6月）、
　「アルミニウム合金製橋梁用防護柵製作・施工要領」（平成27年3月）による。
3. 本防護柵の支柱は、レベル用を示し、0〜2.5%勾配に使用とする。
　5%用は2.5%〜7.5%勾配に使用とする。

コンクリート強度　σck=21N/mm^2 以上

日軽エンジニアリング（株）

NC−42EB−10N

高欄兼用車両防護柵　C種
3本ビーム＋格子付き　H=1000mm
ナット締め付けアンカー式

2025年2月